

今月の題字



熊野第二小学校6年生
梅森 蘭夏さん

町の人口と世帯数

平成25年8月31日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (289)

キツネノマゴ

(キツネノマゴ科)



枝先の花穂を狐の尾に見立て、花穂が小さいので孫を付けたと言われます。尾に見えるのは披針形の萼片や小苞片で、透明な縁どりと長い毛が密生しています。

花期は8〜10月。花は一つの花穂に1〜3個ずつ、ぼつぼつと咲きます。花の長さは7〜8mm。先が上下に分かれた唇形花で、上唇は小さく白色、下唇は大きく淡紅色です。稀に、全体白色のものがあります。

果実は細長く、熟すと2片に裂けて落ちます。この時、フック状の射出器が4個の種を弾き飛ばします。萼は深く5裂と図鑑にあります。20倍のルーペで調べてみましたが萼片は4個しか確認できませんでした。

茎の下部は倒れて、地面に接すると節から根を出します。高さは10cm位から、高いものは80cmにもなります。茎の断面は6角形で、多くの枝を出します。

葉は対生で、長さ2〜6cmほどです。倍率の高いルーペで見ると、葉の表に短い線形の結晶がやや平行に多数並んでいます。乾くと突出してよく分かります。鍾乳体と呼ばれるカルシウムの結晶です。

本州以南の道端、耕地の周りなどに生える1年草です。町内で多く見られます。射出器や鍾乳体をもつことなどが、キツネノマゴ科の特徴の一つです。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子

県内市町発!!

おすすめイベント

ピクニック

【朝鮮通信使再現行列】

朝鮮通信使一行がこの地を訪れた際には盛大なもてなしを行い、その様子は「鳥が沈むほど」と表現されています。この歴史のもとに、約250人の行列参加者が色とりどりの再現衣装を身にまとった当時の朝鮮通信使の行列の様子を史実に基づき再現します。

時 10月20日(日)10時45分〜15時

¥ 一般400円、高校生300円、小中学生200円

所 下蒲刈町三之瀬地区 間松濤園 ☎0823-652900



四年 中野 あい
左右



熊野第二小学校 4年 中野 愛さん

【評】よく見て、細かいところまで、根気強く最後まで描いている。

【評】はらいに気をつけながら、バランスよく書いている。